

有識者による講演会資料

小中一貫教育の展開とその成果および課題【P02～21】

兵庫教育大学 准教授 安藤福光氏

学校づくりはまづくり —みんなで創る美浜の未来—【P22～73】

名古屋市立大学 特任教授 鈴木賢一氏

1

小中一貫教育の展開とその成果および課題

兵庫教育大学大学院
安藤 福光(あんどうよしみつ)

1-1.小中一貫教育の導入理由

□ 数ある導入理由(安藤2009、p.192より抜粋)

- (1) 確かな学力の向上
- (2) 豊かな人間性の育成
- (3) 中学校へのスムーズな進学
- (4) 発達上の問題の解決
- (5) 生徒指導上の諸問題
- (6) 少子化による生活・学習集団の再構築

* 青字:教育課程上の理由

緑字:生徒指導上の理由

橙字:教育課程・生徒指導上の理由

1-2.小中一貫教育が求められる背景

□ 「中1プロブレム」、「中1問題」、「中1ギャップ」

* 論者によって異なるが、意味は以下を指す

- ・ 中学校1年次において、中学校のシステムにうまく適応できずに不登校等になること
- * 夏休み明けに多発するという=「一次適応」よりも「二次適応」(田中・安藤2009)

□ 以前と比較して、子どもの成長の早熟化(天笠2005)

* 身長

- ・ 1950:男子6歳約110cm
- ・ 2004:男子6歳約120cm

* 身長の伸び

- ・ 1950:男子15歳、女子12歳
- ・ 2004:男子12歳から13歳、女子10歳から11歳

=早熟化(加速化)傾向

1-3.小学校と中学校の違い(1)

□ 教育課程・授業関係

- *新しい教科との出会い
- *教科名の変更
- *行事名の変更(例:運動会から体育祭)
- *教科担任制の開始、クラス担任2名
- *教科の運営方法の変更(例:体育男女別)
- *期末テストのあり・なし、試験の回数の増加
- *テストの作り方
- *45分授業から50分授業へ
- *クラブ活動から部活動へ
- *教室移動が増える
- *成績のつけ方(通知表の違い等)

□ 教育課程・授業関係おまけ

- *夏休み中のラジオ体操のあり・なし
- *夏休み中のプールのあり・なし
- *鉛筆からシャープペンシルへ
- *学習帳から大学ノートへ
- *お道具箱のあり・なし
- *算数セットのあり・なし
- *黒板の字の丁寧さ
- *体操ズボンの丈の長さ

1-4.小学校と中学校の違い(2)

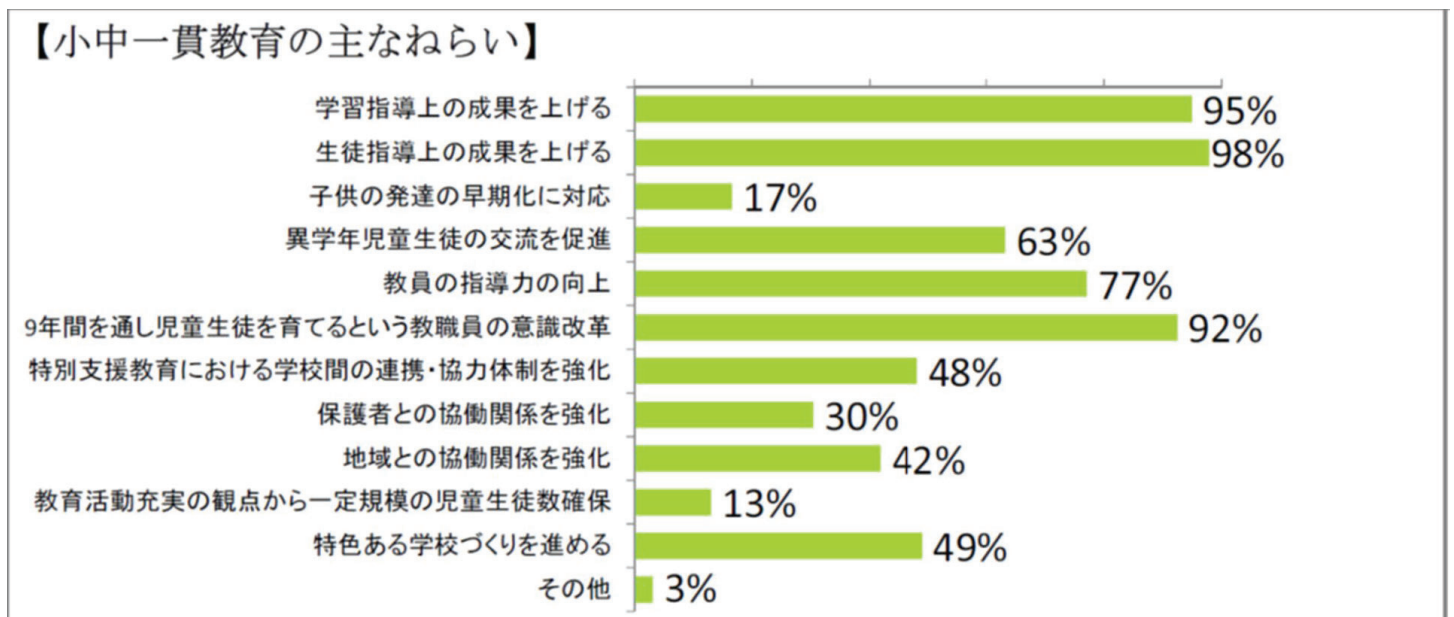
□ 生活・環境関係

- *業間休みのあり・なし
- *登校方法の変化(一斉から個人へ、徒歩から自転車へ)
- *2人1組の机から1人机へ
- *人間関係の厳格化(子ども同士、対教員)
- *風紀の厳格化
- *生徒手帳の登場
- *教員という時間の長短
- *私服から制服へ
- *掃除の時間帯(昼・放課後)
- *ランドセルのあり・なし
- *家庭訪問のあり・なし
- *購買のあり・なし

2.小中一貫教育制度の類型(文部科学省2016、p.20)

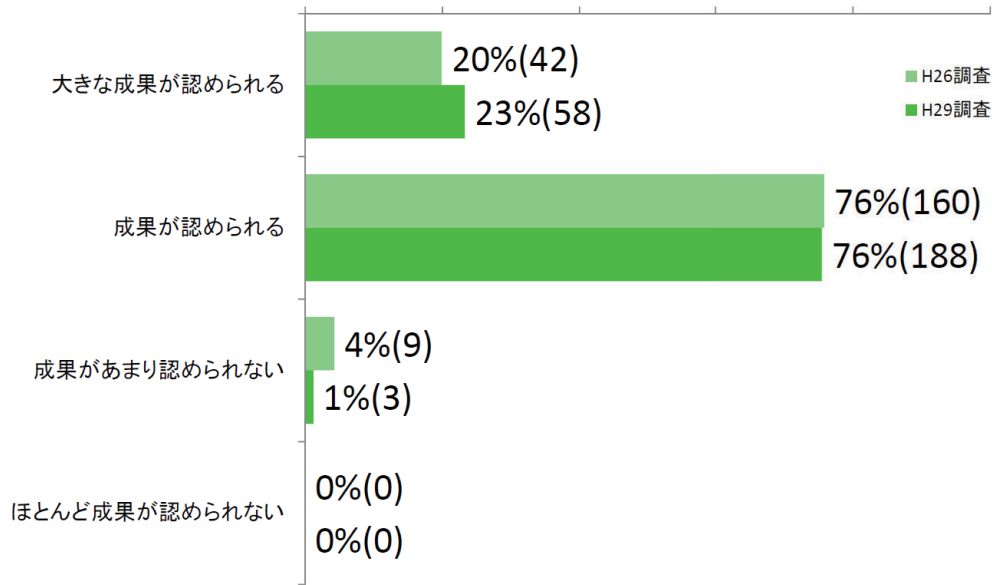
	義務教育学校	小中一貫型小学校・中学校		
		中学校併設型小学校 小学校併設型中学校	中学校連携型小学校 小学校連携型中学校	
設置者	—	同一の設置者	異なる設置者	
修業年限	9年 (前期課程6年+後期課程3年)	小学校6年、中学校3年		
組織・運営	一人の校長、一つの教職員組織	それぞれの学校に校長、教職員組織		
		小学校と中学校における教育を一貫して実施するためにふさわしい運営の仕組みを整えることが要件 ① 関係校を一体的にマネジメントする組織を設け、学校間の総合調整を担う校長を定め、必要な権限を教育委員会から委任する ② 学校運営協議会を関係校に合同で設置し、一体的な教育課程の編成に関する基本的な方針を承認する手続を明確にする ③ 一体的なマネジメントを可能とする観点から、小学校と中学校の管理職を含め全教職員を併任させる	中学校併設型小学校と小学校併設型中学校を参考に、適切な運営体制を整備すること	
免許	原則小学校・中学校の両免許状を併有 ※ 当分の間は小学校免許状で前期課程、中学校免許状で後期課程の指導が可能	所属する学校の免許状を保有していること		
教育課程	<ul style="list-style-type: none"> ・9年間の教育目標の設定 ・9年間の系統性・体系性に配慮がなされている教育課程の編成 			
教育課程の特例	一貫教育に必要な独自教科の設定	○	○	○
	指導内容の入替え・移行	○	○	×
施設形態	施設一体型・施設隣接型・施設分離型			
設置基準	前期課程は小学校設置基準、後期課程は中学校設置基準を準用	小学校には小学校設置基準、中学校には中学校設置基準を適用		
標準規模	18学級以上27学級以下	小学校、中学校それぞれ12学級以上18学級以下		
通学距離	おおむね6km以内	小学校はおおむね4km以内、中学校はおおむね6km以内		
設置手続き	市町村の条例	市町村教育委員会の規則等		

4.小中一貫教育に関する諸調査の結果



小中一貫教育のこれまでの取組の総合的な評価(成果)

【公立】



文部科学省(2017、p.31)

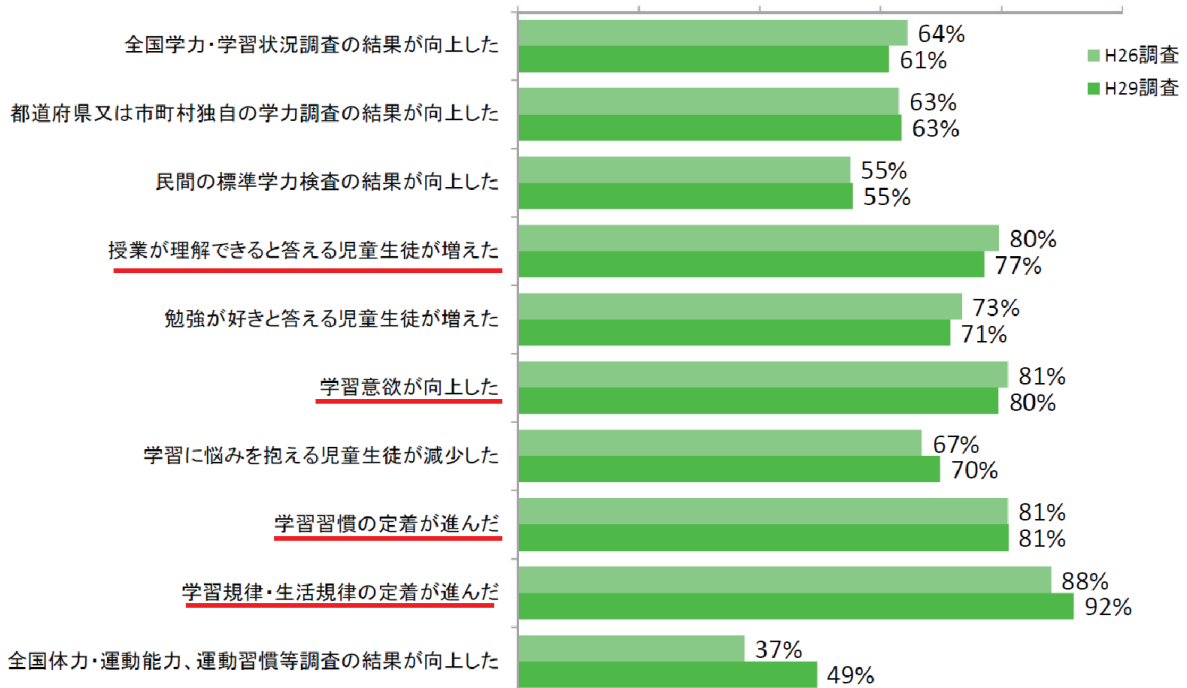


回答:H26 211市区町村(小中一貫教育実施市区町村)
H29 249市区町村(小中一貫教育実施市区町村)

成果I 【公立】

学習指導等

※「大きな成果が認められる」、「成果が認められる」と回答した割合



文部科学省(2017、p.32)

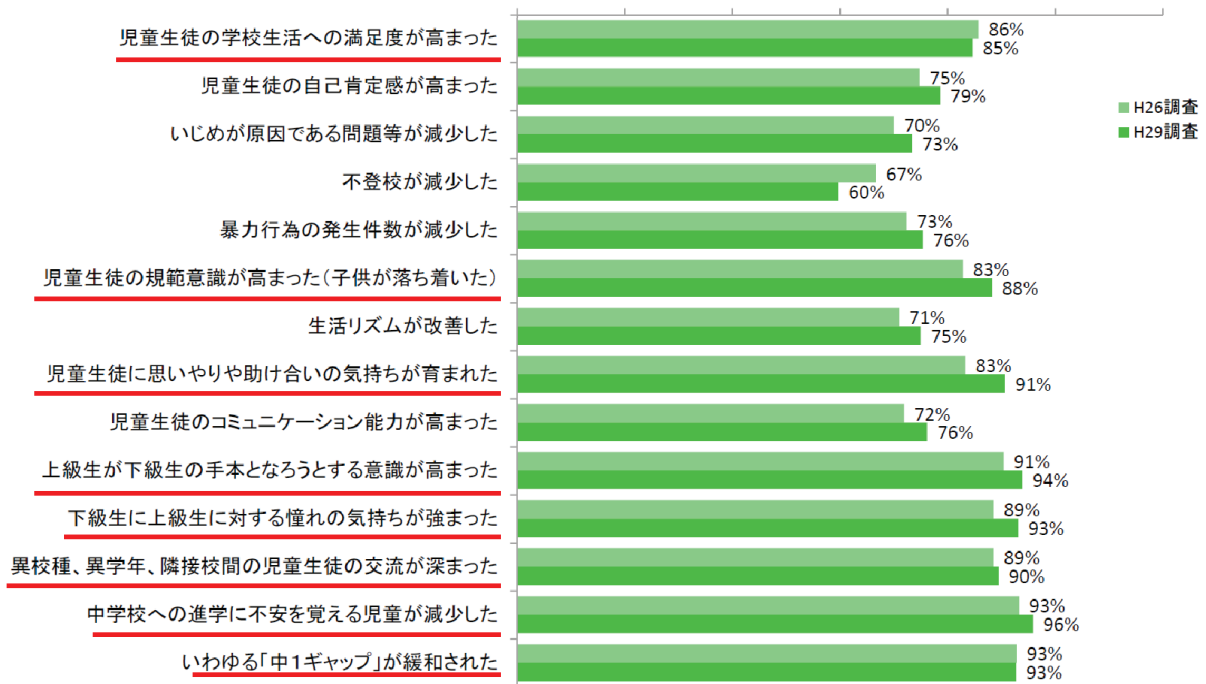
回答:H26 211市区町村(小中一貫教育実施市区町村)
H29 249市区町村(小中一貫教育実施市区町村)

成果2

【公立】

生徒指導等

※「大きな成果が認められる」、「成果が認められる」と回答した割合



回答：H26 211市区町村(小中一貫教育実施市区町村)
H29 249市区町村(小中一貫教育実施市区町村)



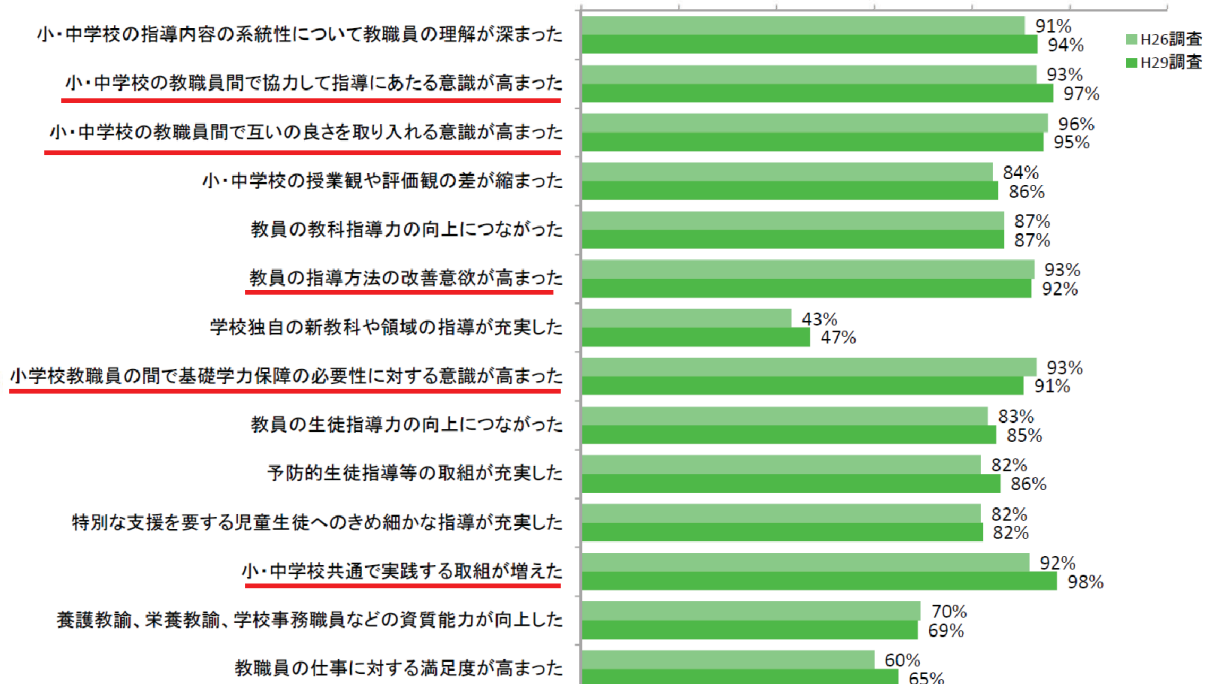
文部科学省(2017、p.33)

成果3

【公立】

教職員の協働等

※「大きな成果が認められる」、「成果が認められる」と回答した割合



回答：H26 211市区町村(小中一貫教育実施市区町村)
H29 249市区町村(小中一貫教育実施市区町村)

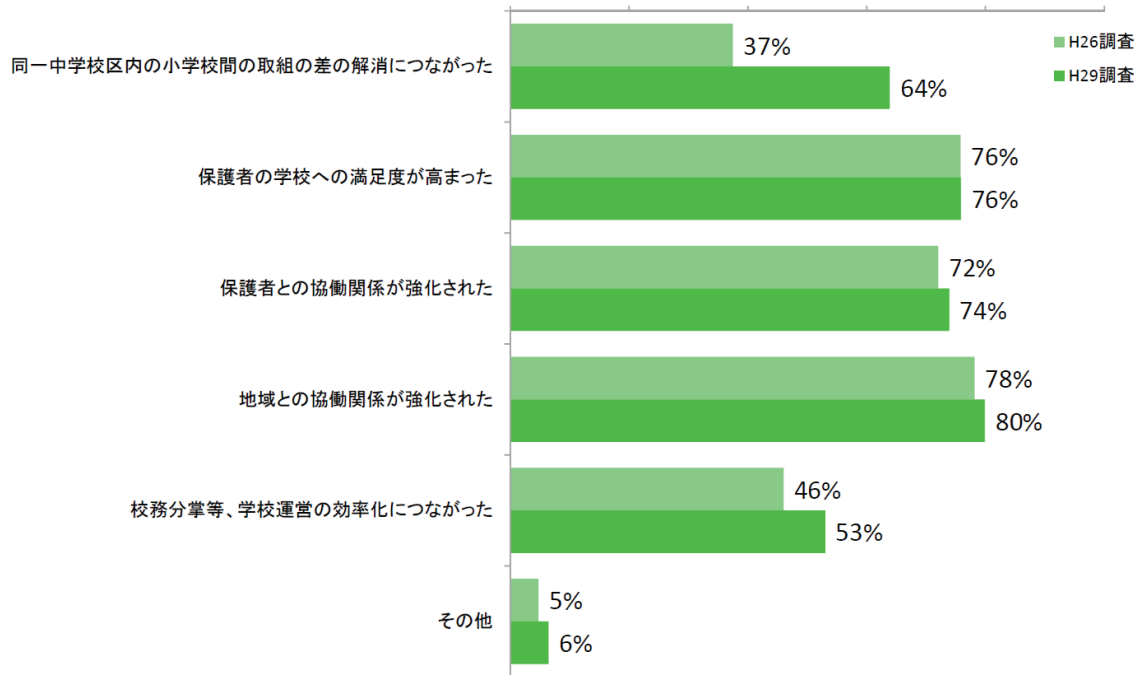


文部科学省(2017、p.34)

成果4 【公立】

その他、学校運営等

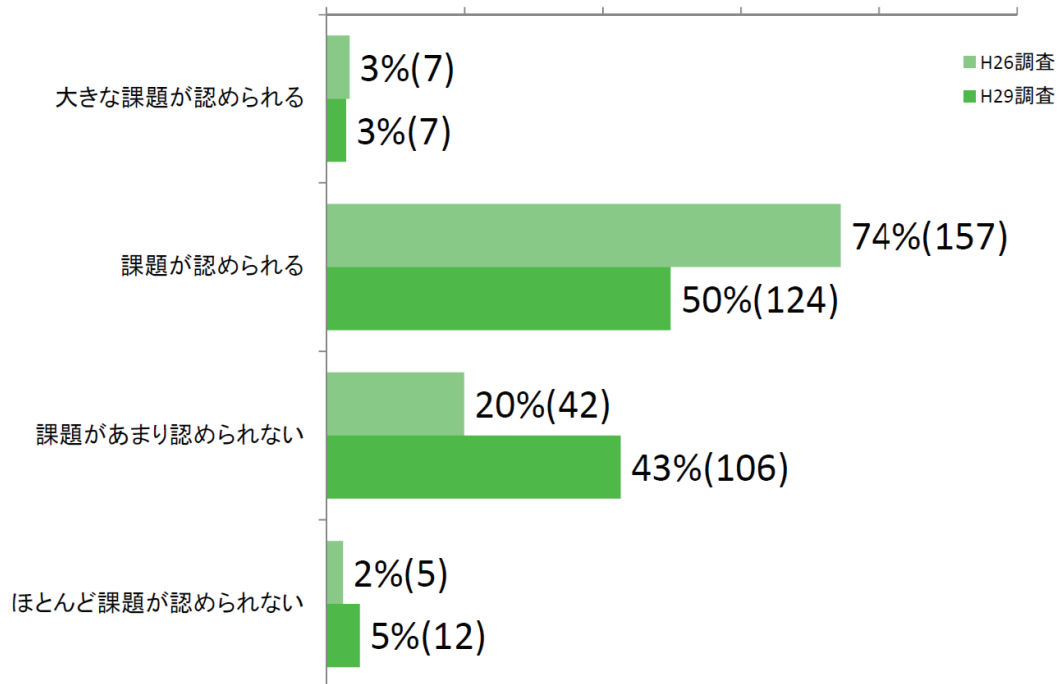
※「大きな成果が認められる」、「成果が認められる」と回答した割合



文部科学省(2017、p.35)

回答: H26 211市区町村(小中一貫教育実施市区町村)
H29 249市区町村(小中一貫教育実施市区町村)

課題1 【公立】



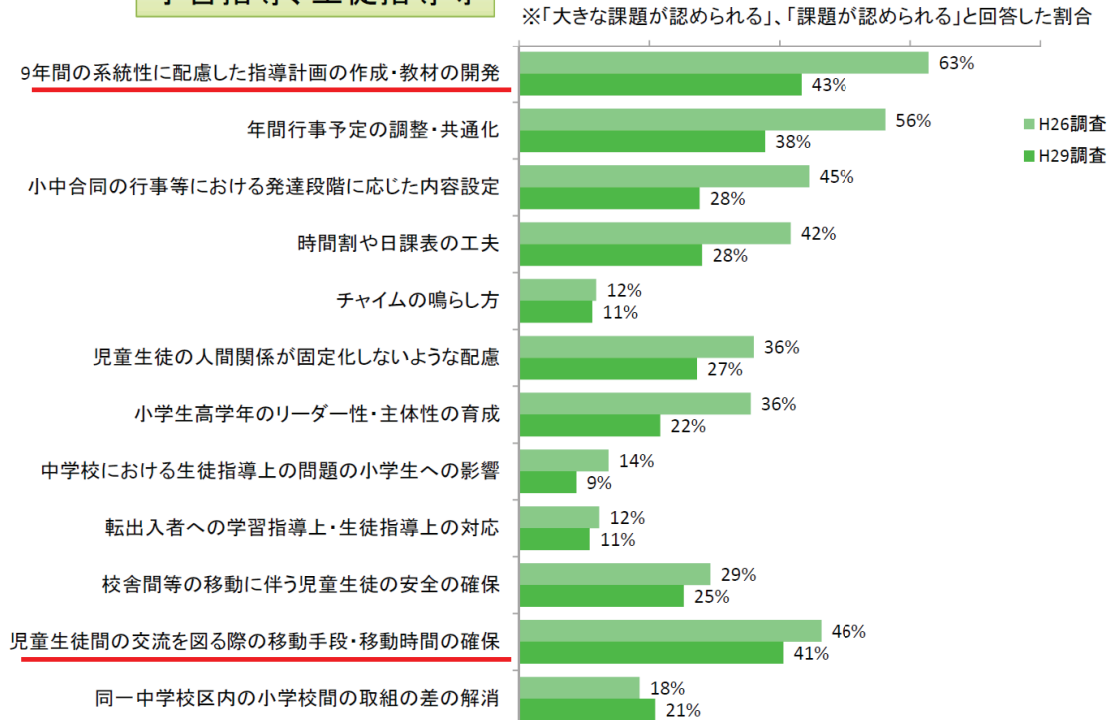
文部科学省(2017、p.37)

回答: H26 211市区町村(小中一貫教育実施市区町村)
H29 249市区町村(小中一貫教育実施市区町村)

課題2

【公立】

学習指導、生徒指導等

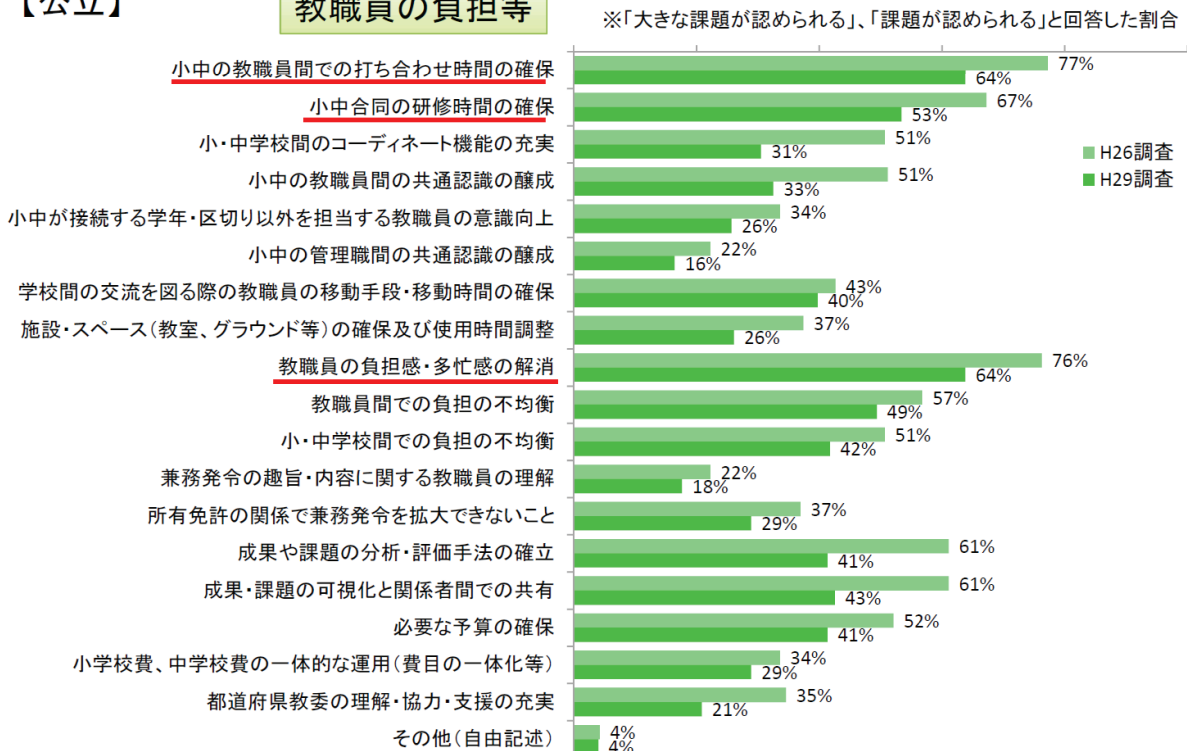


回答：H26 211市区町村(小中一貫教育実施市区町村)
H29 249市区町村(小中一貫教育実施市区町村)

課題3

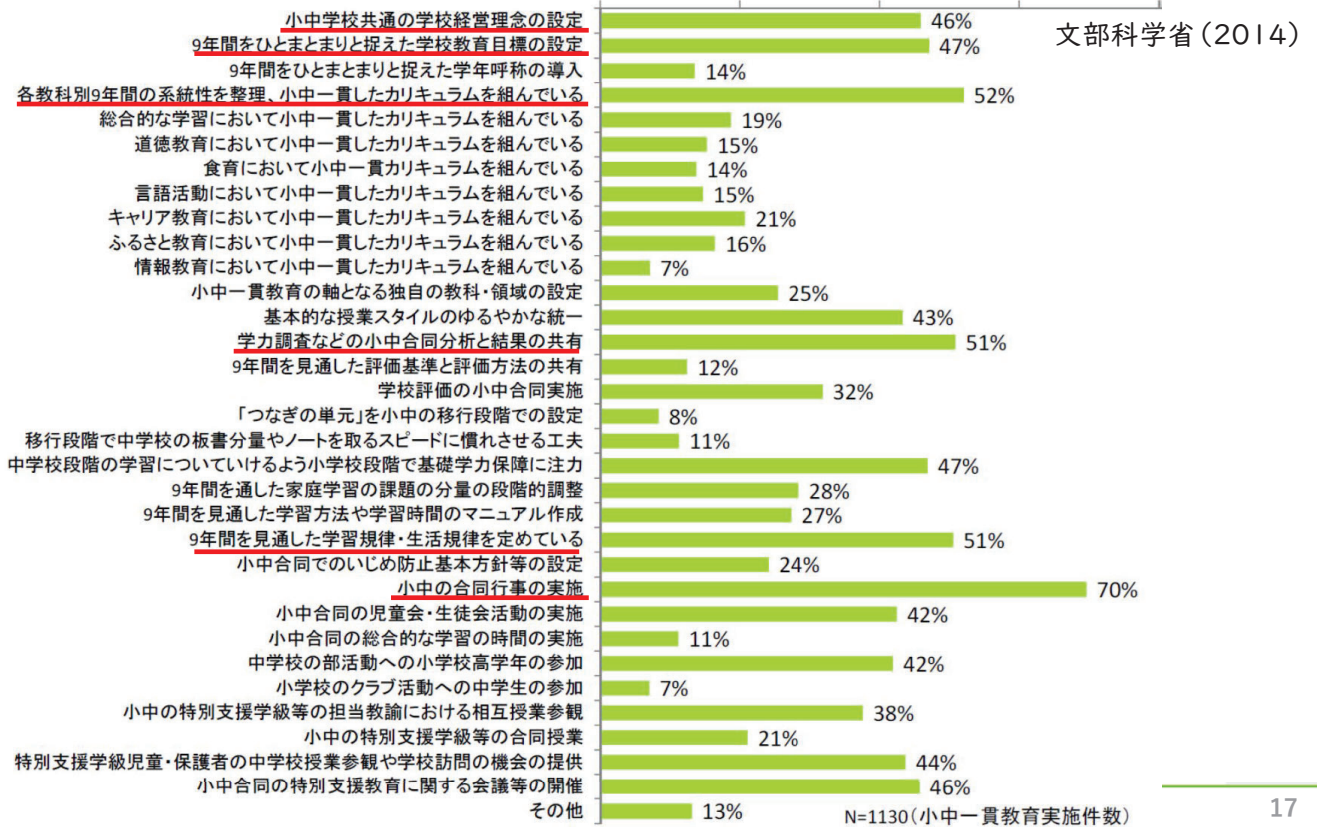
【公立】

教職員の負担等



回答：H26 211市区町村(小中一貫教育実施市区町村)
H29 249市区町村(小中一貫教育実施市区町村)

系統性の確保



5-1. 調査結果にみる小中一貫教育の成果

□ 成果

*カリキュラム上の成果:学力の定着傾向

*生徒指導の成果:学校不適応の改善傾向、異学年交流による児童生徒の成長

*運営上の成果:教職員の協働による指導力等の向上

*その他:保護者や地域の満足度の向上

➡ 小中一貫教育=義務教育の質向上に益する取り組み

5-2.調査結果にみる小中一貫教育の課題

□ 課題

*カリキュラム上の課題:早修型のカリキュラムの是非

例:新たな「ギャップ」の発生、「中1ギャップ」から「小5ギャップ」へ

*生徒指導上の課題:中学校進学が通過儀礼の意味を持たなくなった

*運営上の課題:教職員の協働体制をいかに構築するか(時間の確保、負担感など)



いずれも小中一貫教育で「何をするのか」が問われる
=カリキュラムがカギを握る



5-3.小中一貫校の強みと可能性

□ 子ども同士の育ち

*1年生から9年生が日常的に学校生活を共にする意味

*「見る一見られる関係」

リーダーシップとフォロワーシップの日常的な獲得と再生産

□ 教職員の協働

*子どもを長期的な視点(見通し)で見ることの意味

*小中の良さを生かした仕事の進め方が、教師の職能成長にもつながる



義務教育の質の向上へ



文献

- 田中統治・安藤福光(2009)「小中一貫教育」、小川正人編集代表『検証 教育改革』教育出版、pp.86-104
- 天笠茂監修、五番町小学校・二河小学校・二河中学校(2005)『公立小中で創る一貫教育-4・3・2のカリキュラムが拓く新しい学び-』ぎょうせい
- 安藤福光(2009)「小中一貫教育のカリキュラム評価の視点」、田中統治・根津朋実編『カリキュラム評価入門』勁草書房、pp.191-212
- 中央教育審議会(2014)『子供の発達や学習者の意欲・能力等に応じた柔軟かつ効果的な教育システムの構築について(答申)』
- 文部科学省(2014)『小中一貫教育等についての実態調査の結果』
- 文部科学省(2016)『小中一貫した教育課程の編成・実施に関する手引』
- 文部科学省(2017)『小中一貫教育の導入状況調査の結果』



令和15年春開校に向けた 7年間の旅の出発にあたって

- 1) どのような姿勢で検討すべきか
この2年間がもっとも重要
- 2) 新しい学校は今までの学校のアップデートではない
新しいハードとソフトウェアが必要

大人（チーム美浜）の
本気度と団結力が試されています！

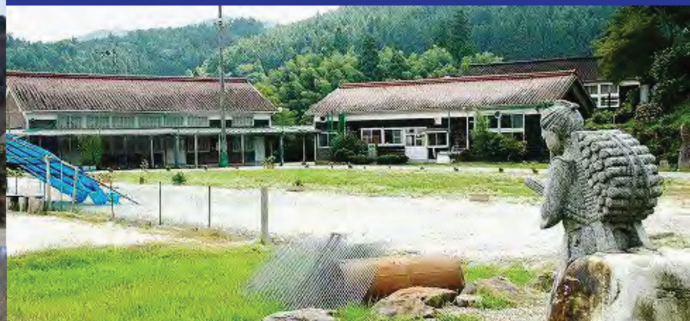
2

23



山里に点在する5つの 小学校の統合計画

愛知県旧下山村
三巴・阿蔵・田平沢・和合・羽布小学校



3

24



5つの学校合同の総合学習で「学校づくり」に取り組んだ（遊具を考える低学年）



高学年が提案した高層ビル校舎
（話題になって大勢が村にやってくるはず）



別の高学年が提案した円形校舎
(6学年の教室が輪になって仲良く学部ことができる)

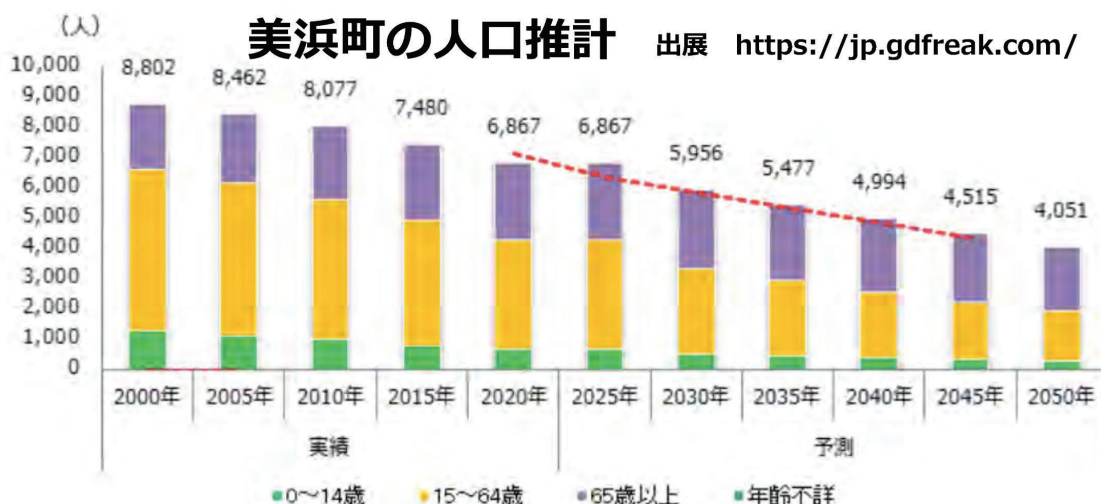


豊田市立巴ヶ丘小学校

2006年開校
児童55名

学校づくりは 地域に投げかけられた 将来のまちづくりの試金石

将来の見通しがきかない現在にあって、
地域の未来をみんなで考えるために
投げかけられた探求課題であり、
新しい時代の地域の基盤を創造する機会

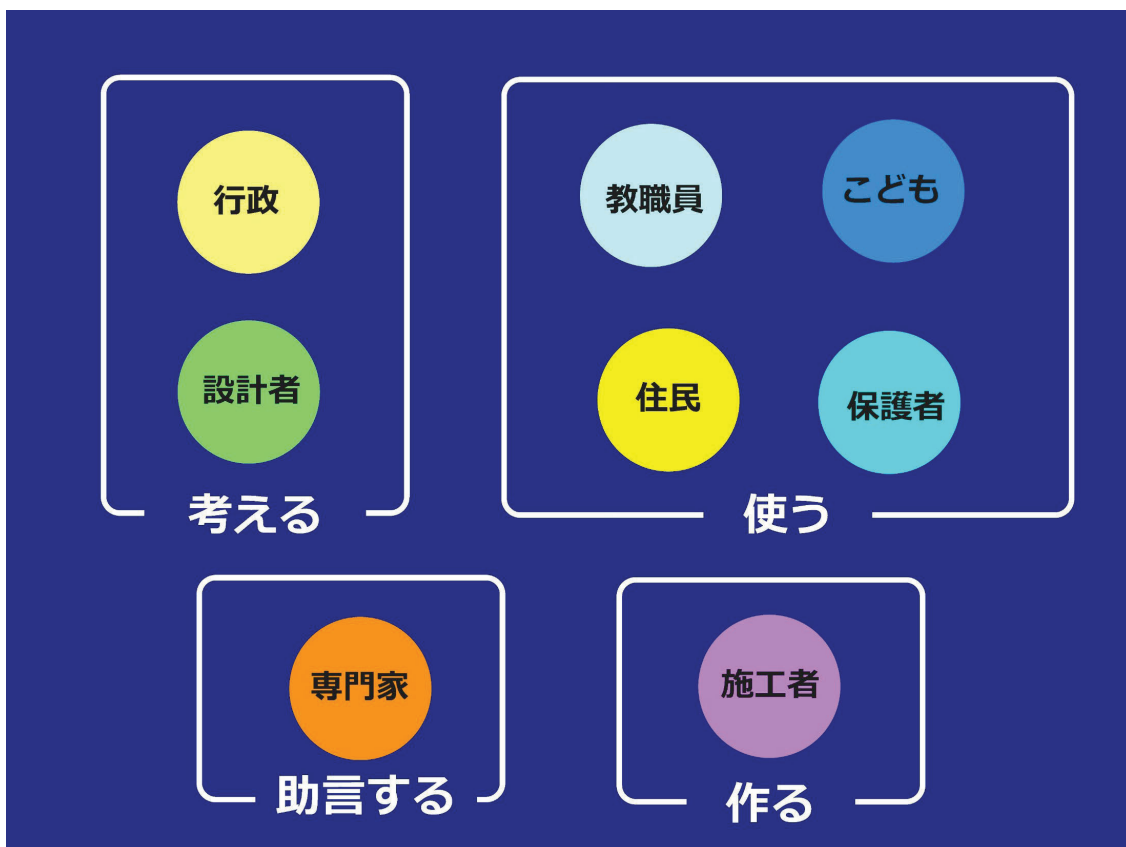
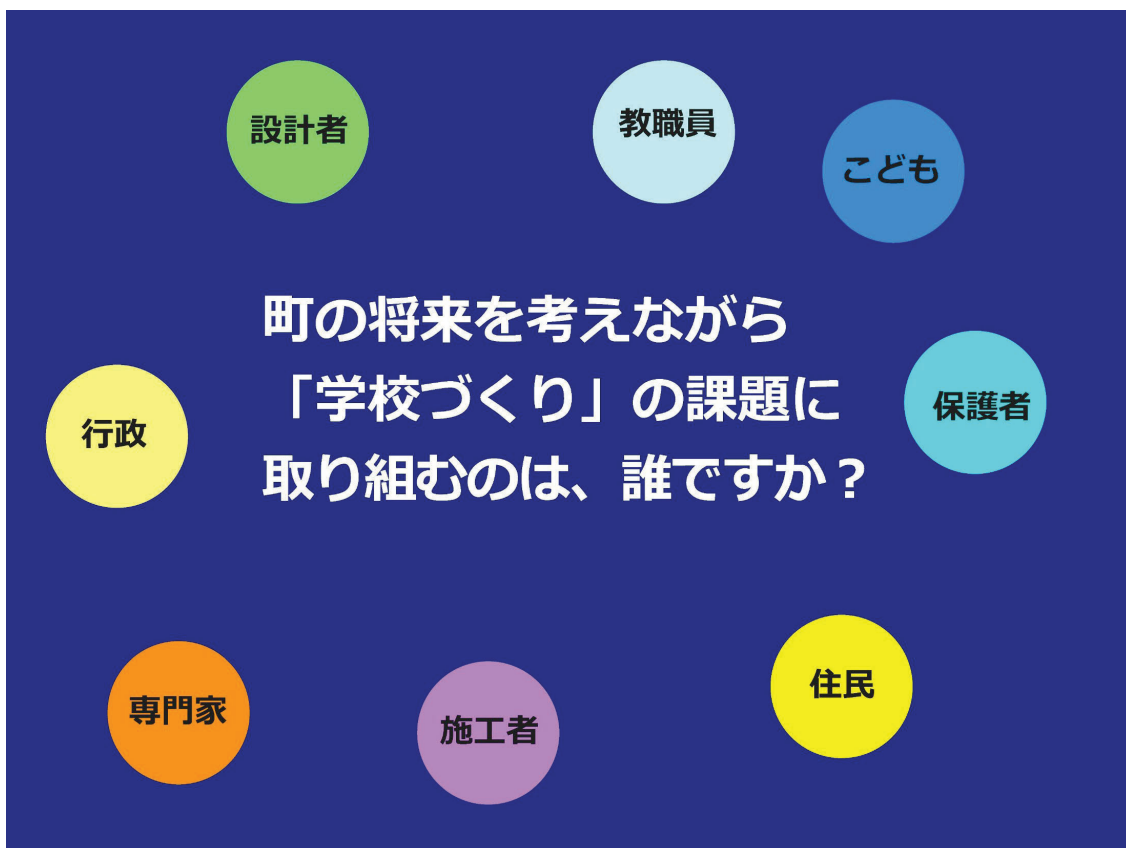


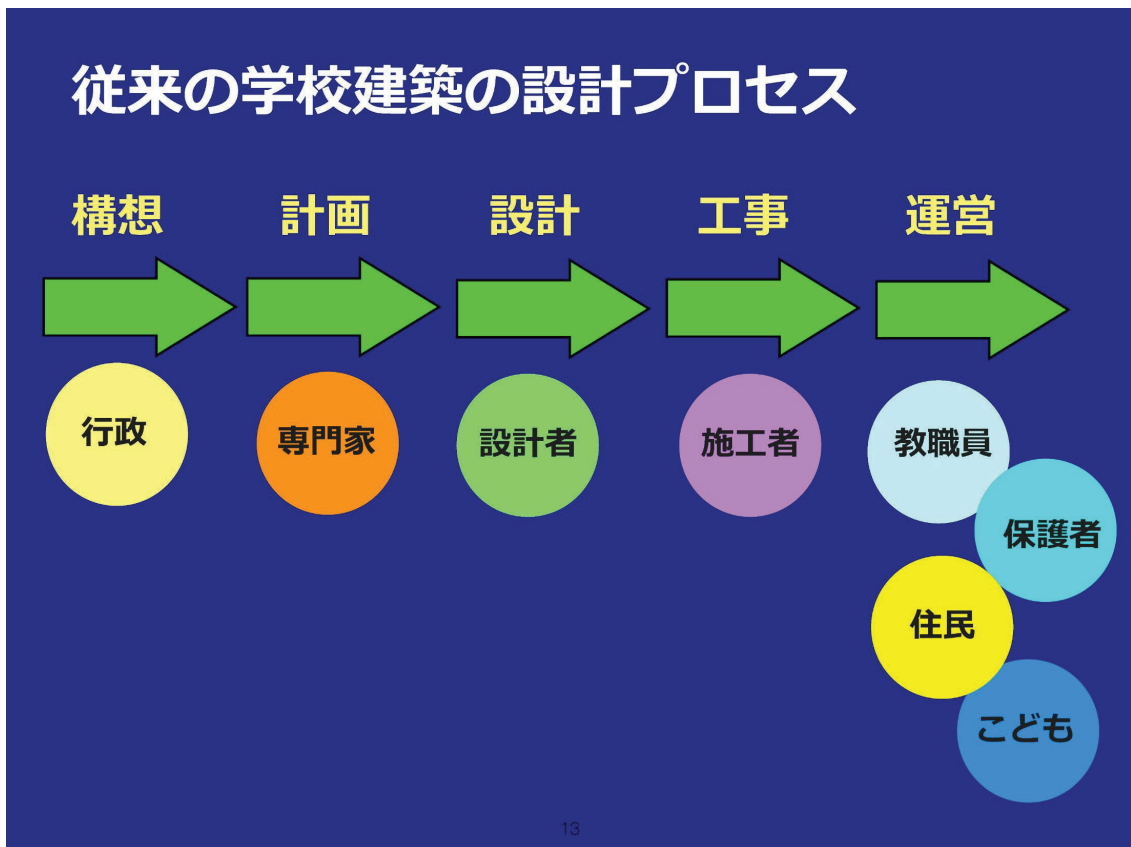
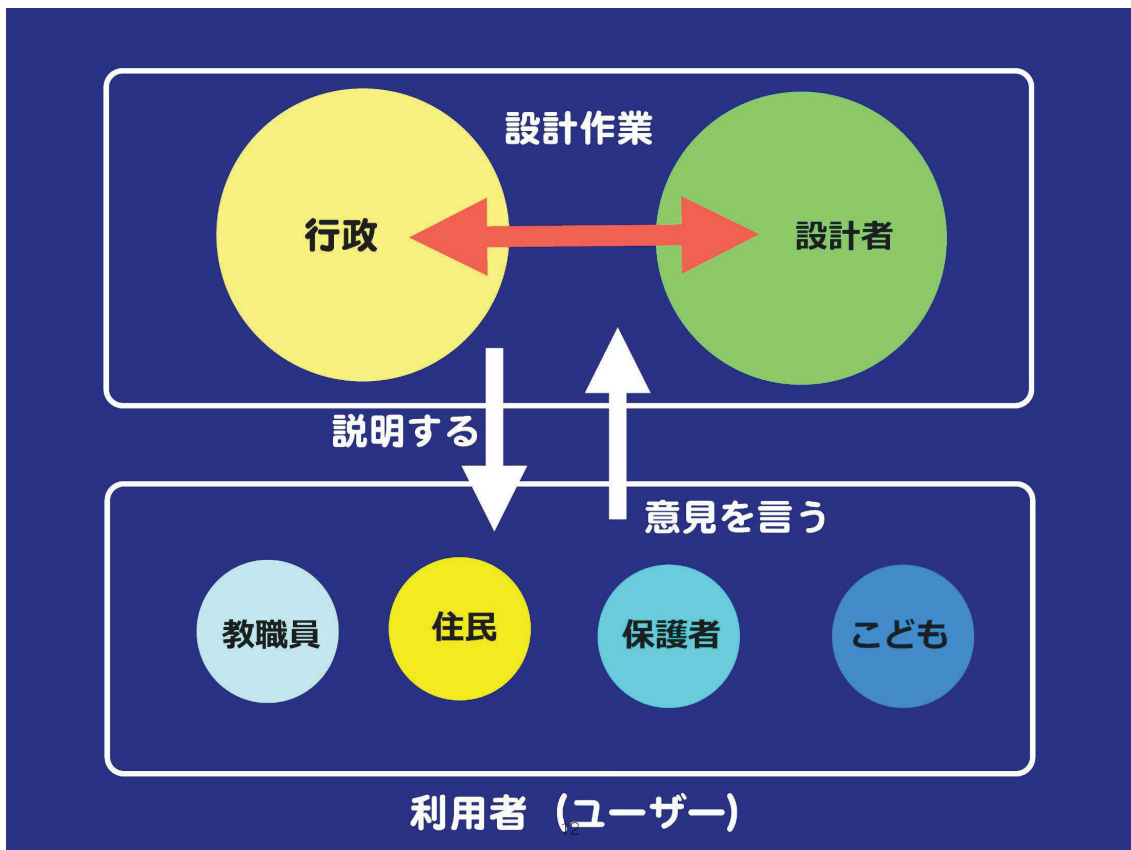
25年後、50年後を想像してください

あなたは何をしていますか？

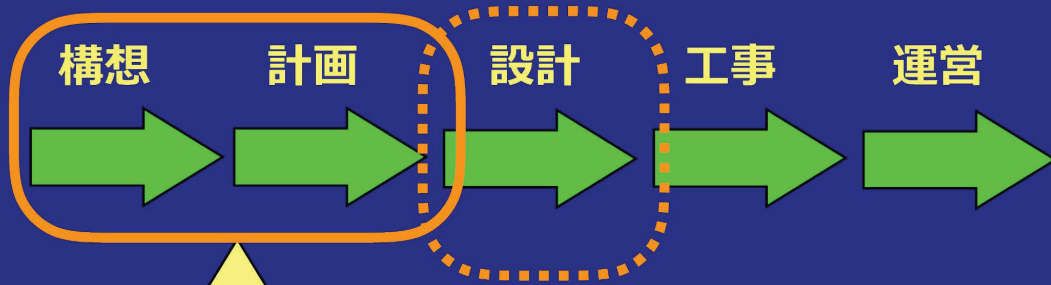
美浜町がどのようになっているほしいですか？

子どもの成長の環境はどうなってほしいですか？





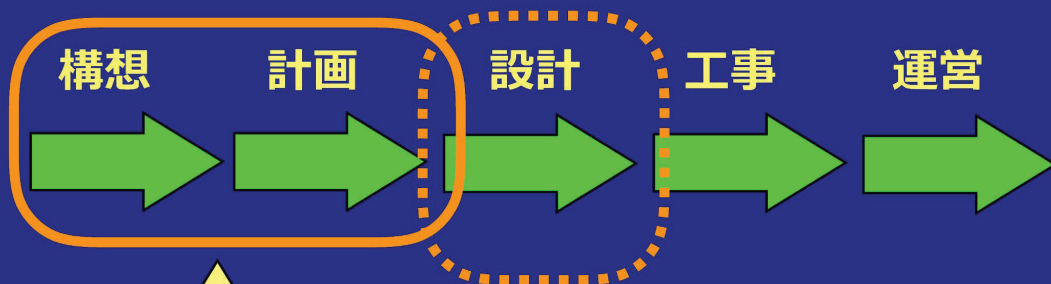
学校建築の設計プロセス



↑
価値の創造
■
要望の
集約・合意

質の高い空間は、価値の創造段階で決まる

学校建築の設計プロセス



市民参加は構想計画段階にこそ必要

能動的な学びのプロセスに 飛び込む試み

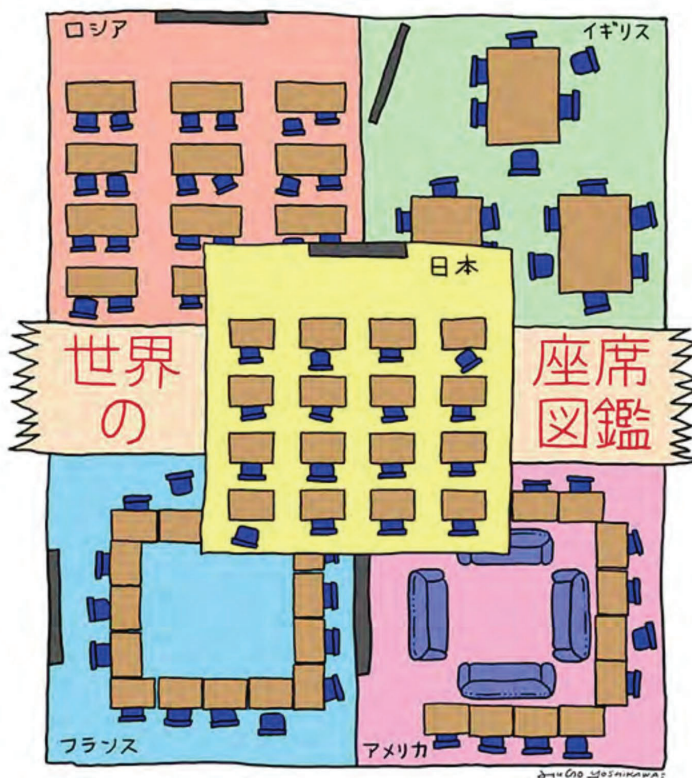
不安解消のロードマップと広報
住民活動のパワー
意見を引き出すカードや模型
学習機会としての計画プロセス
学習教材としての学校建築
実際の場での確認
発注者による意見集約

.....

16

5M

37



38



アメリカ：グレンビル小学校



スウェーデン：
フューチャラム国民基礎学校



アメリカ：ヒースコート小学校



アメリカ：シックストリート
シックス小学校



愛知県東浦町立緒川小学校（1978年）



私たちの知っている学校は、
「こういうものだ」で満ちている！

新しい学校も
「こういうものだ」で考えますか？

新しい学校は
「できればこうしたい」で考えませんか？

学校建築の7不思議

教室は南側左側採光、廊下は北側

教室に前と後ろがある

教室の天井の高さは3m

机と椅子の生活、座る場所が決まっている

教室に硬い椅子、校長室にソファ

校舎の端っこに図書室がある

学校の体育館に舞台がある

22

43

学校づくりの目標と課題の把握

1. ハードとソフトをセットで考える

少子化による学校再編、老朽化の解消

2. 学校を根本的に考え直す機会

これからの子ども、地域にとっての学校

3. いち早い課題整理と目標設定

課題を整理し重要度を把握する

4. 関係者を課題解決のメンバーに

課題を整理し重要度を把握する

23

44

学校づくりの目標

眼前の課題解決、現実からのバージョンアップの議論に陥ることなく



古いから、新しく
暗いから、明るく
狭いから、広く
汚いから、綺麗に

将来に向けた新たな構想と新たなソフトウェアとハードウェアの創造の場に

教師と子どもの学習環境
地域と一緒にまちづくりの位置付け

24

45



名古屋市立笹島小・笹島中学校（2010）

都心の狭小な敷地／健やかな身体を鍛える／郷土学習

25



46



日進市立竹の山小学校
日進北中学校
(小中連携校)

小中連携／小中の交流の場／配置計画



瀬戸市立にじの丘学園
(小中一貫校)

統廃合／連区の団結／小中一貫教育





名古屋市立植田東小学校



亀山市立関中学校



日進市立竹の山小+日進北中

施設一体型小中学校

- 飛島村立飛島学園
- 名古屋市立笹島小中学校
- 日進市立竹の山地区小中学校
- 瀬戸市にじの丘学園
- 桑名市多度義務教育学校（開校直前）

地域施設との複合

- 豊田市立浄水中学校
- 豊田市立寺部小学校
- 高浜市立高浜小学校

住民参加型施設

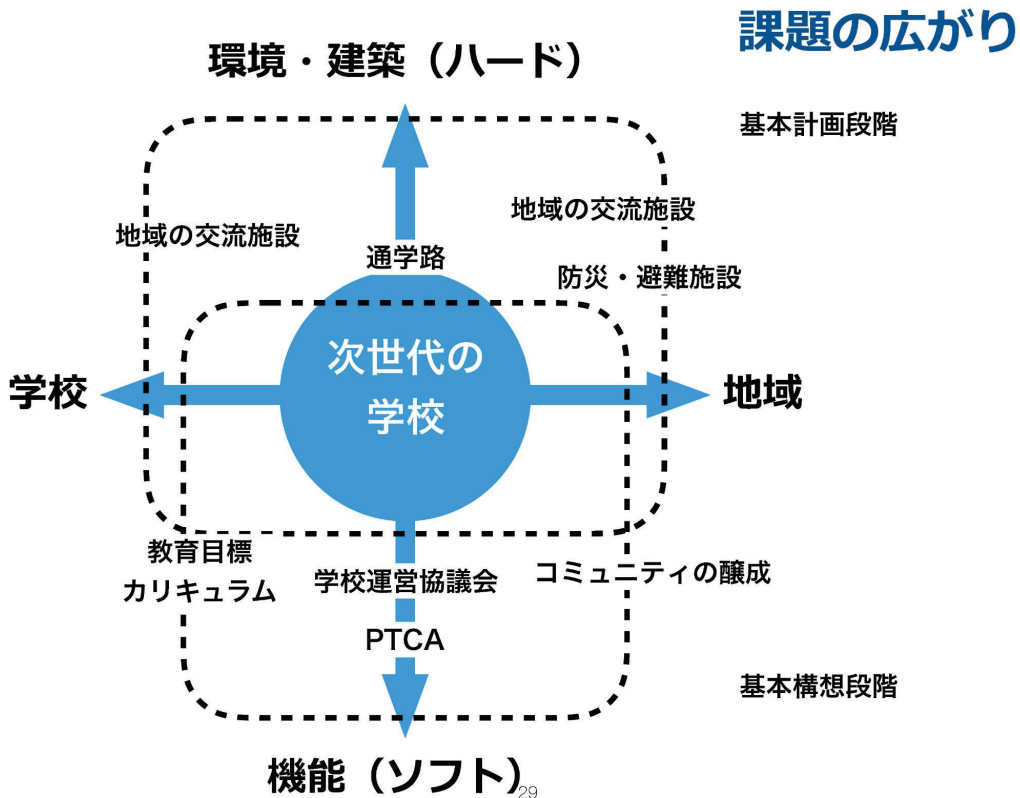
- 名古屋市立植田東小学校
- 豊田市立浄水北小学校
- 志摩市立東海小学校

木造

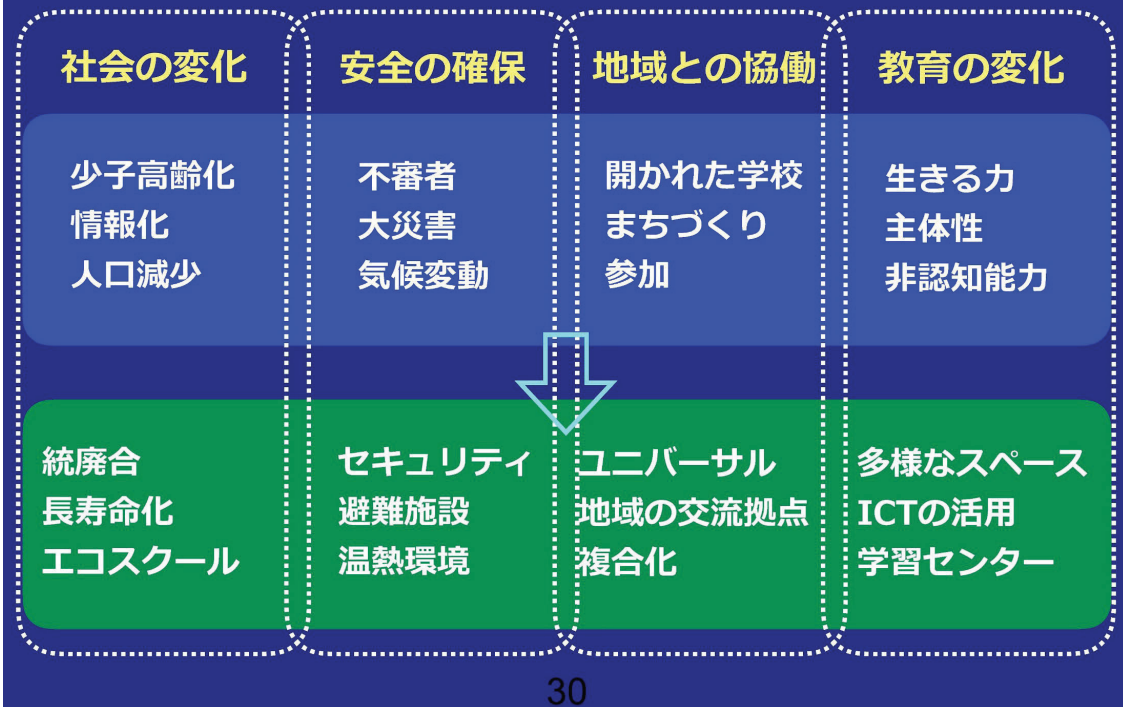
- 豊田市立巴ヶ丘小学校
- 南越前町立今庄小学校
- 亀山市立関中学校

環境共生型学校

- 豊田市立土橋小学校
- 瑞浪市立瑞浪北中学校



多様化する学校の計画条件



51

学校組織の再構築

1. 小学校6年制 + 中学校3年制 ≠ 9年制
小学校と中学校の同居ではない
2. 教師と教育支援者によるチーム学校
心理・福祉、授業、部活、特別支援
3. 地域と一体となった学校運営体制
コミュニティスクールからスクールコミュニティへ

31

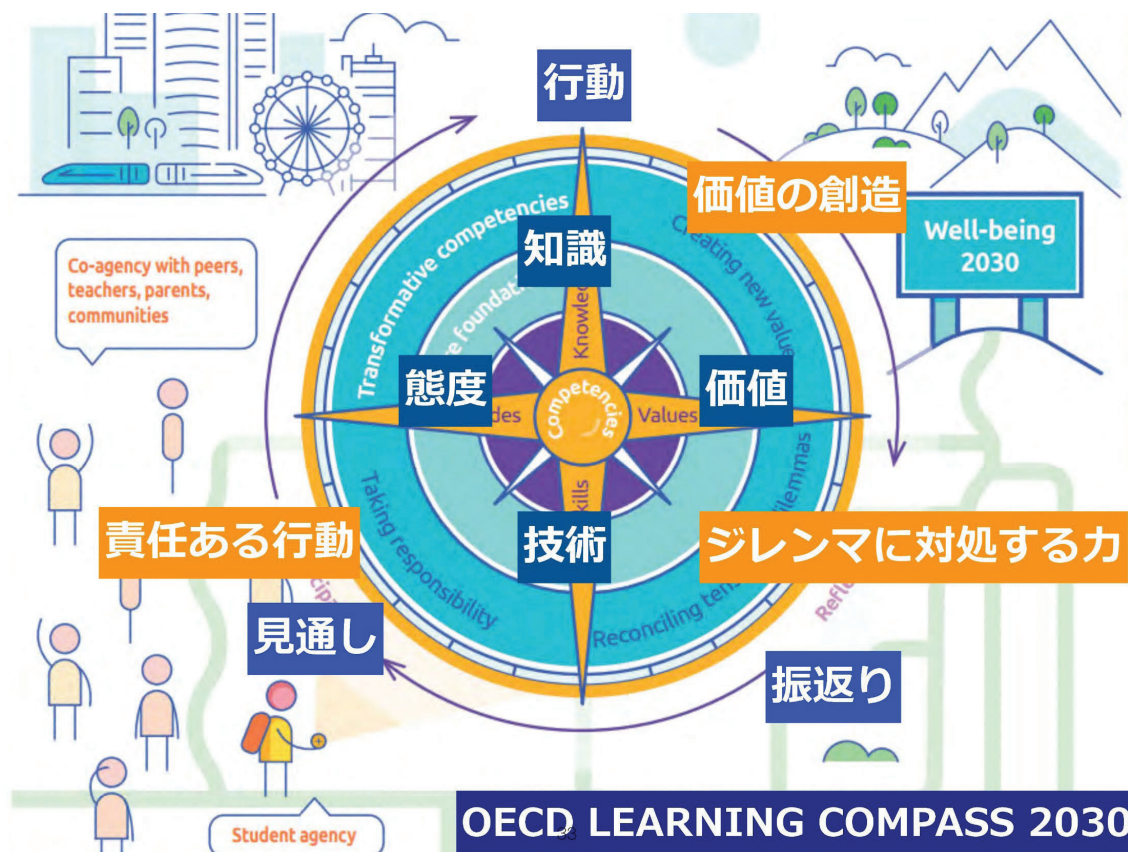
52

学習環境の再構築

1. 教室から学習スペースへ
「講義を聞く」から「考えてやってみる」
2. 学習プロセスに対応して繋がるスペース
活動にふさわしい場所を選択できる
3. 多様な集団活動に対応したスペース
個人とグループ、集中と交流

32

53



54



教育環境から学習環境



少人数、グループ、個別学習



情報源の高度化、多様化



体験性と身体性の見直し

学ぶ意欲を促す環境

クラス単位での学習

廊下

教室

教室

教室

閉鎖スペース

講義型の一斉授業

オープンスペース

個別・グループ学習

オープンスペース

教室

教室

教室

講義型の一斉授業

複数クラスでの学習

個別・グループ学習

講義

学年ユニット

図書

実験・工作

個別学習

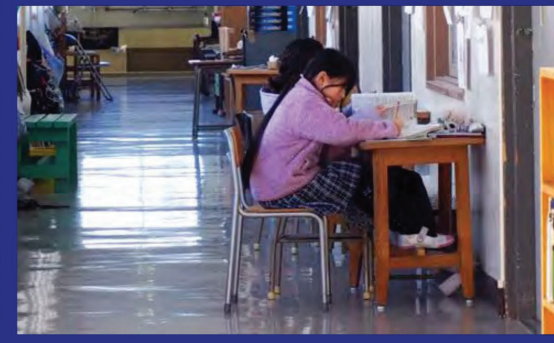
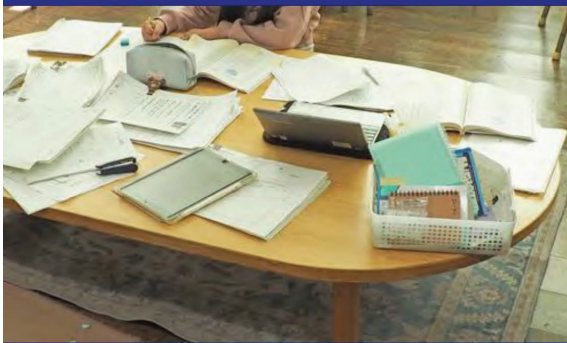
グループ学習

講義

学年ユニット
+ 図書 + 体験スペース

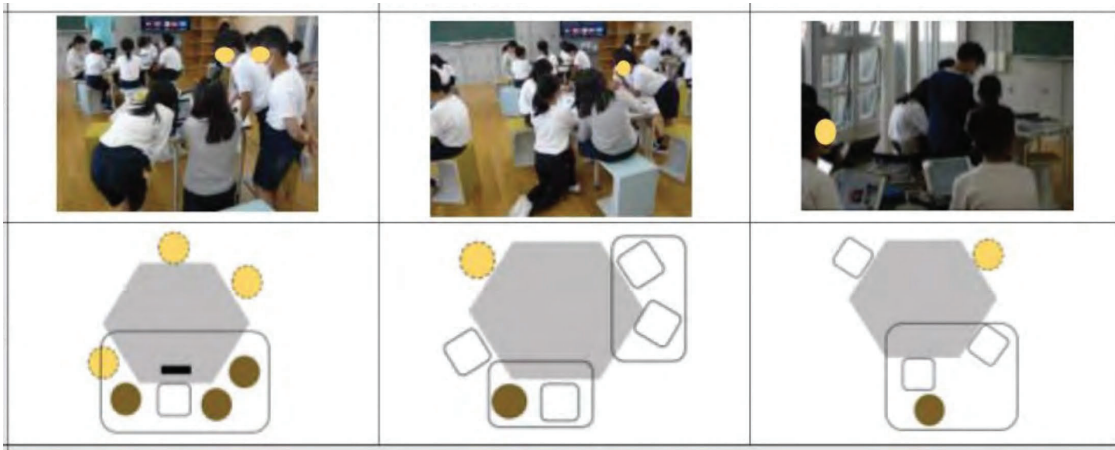
36

57



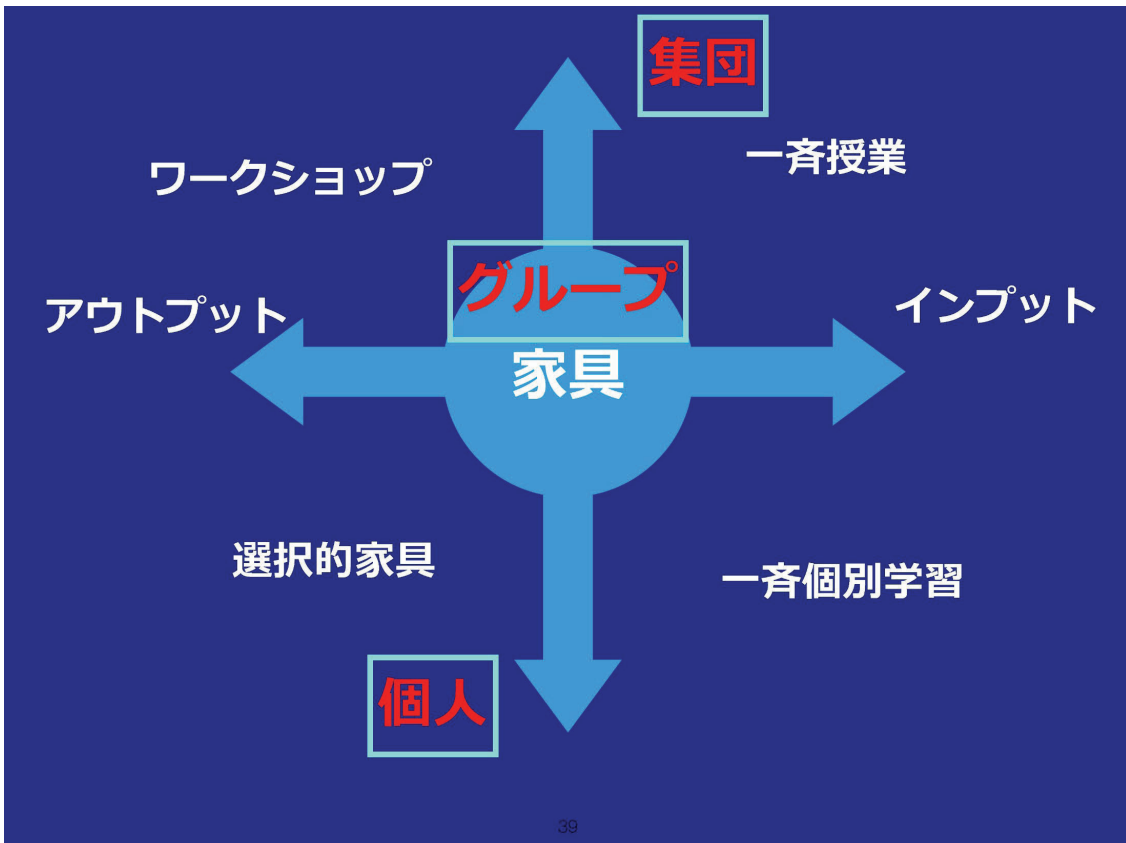
名古屋市立山吹小学校：「ナゴヤ学びのコンパス」を掲げ、
イエナプランをモデルとする自由進度学習に取り組む

58



岐阜市ではすべての小学校に、
アクティブラーニング室（アゴラ） を設けた
 グループ用のテーブルは話し合いに有効であり、
 背もたれのない椅子は体の向きを変えるのに有効

古谷博子, 鈴木賢一、小学校の既存教室に導入したグループ用家具と授業展開に関する研究、日本建築学会計画系論文集 第88巻 第810号, 2261-2270, 2023年8月





瀬戸市立にじの丘学園



小牧市立小牧南小学校



瑞浪市立瑞浪北中学校

校舎の主要動線上に配置された開放的学習センターは、学習の動機づけと、学年・クラスを越えた交流を生み出している



直接体験の重要性



STEAMS探求学習



クラス一斉でなければ、、、



作業プロセスの見える化

特別教室のオープン化（教科を超えた探求学習）



いなべ市立石榑小学校



日進市立竹の山小+日進北



いなべ市立石榑小学校



東郷町立兵庫小学校

校舎と一体となった学びのランドスケープ



名古屋市立中学校内の
フリースクール



川崎市立新小倉小学校の
カームダウンスペース



狛江第三小学校の特別支援学級

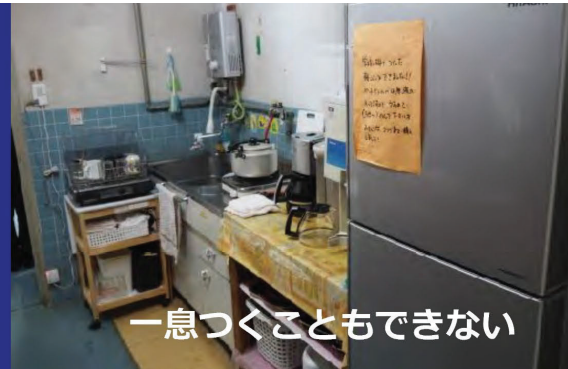


豊川市立一宮西部小学校の
みんなのトイレ

「分離された特別支援教育の長期化」にどう応えるか



子どものためなら、...



一息つくこともできない



大型化する事務機器



ストレス低減と創造性の向上

教師が楽しく元気に働く職場環境



屋上非難スペース



高台移転した学校

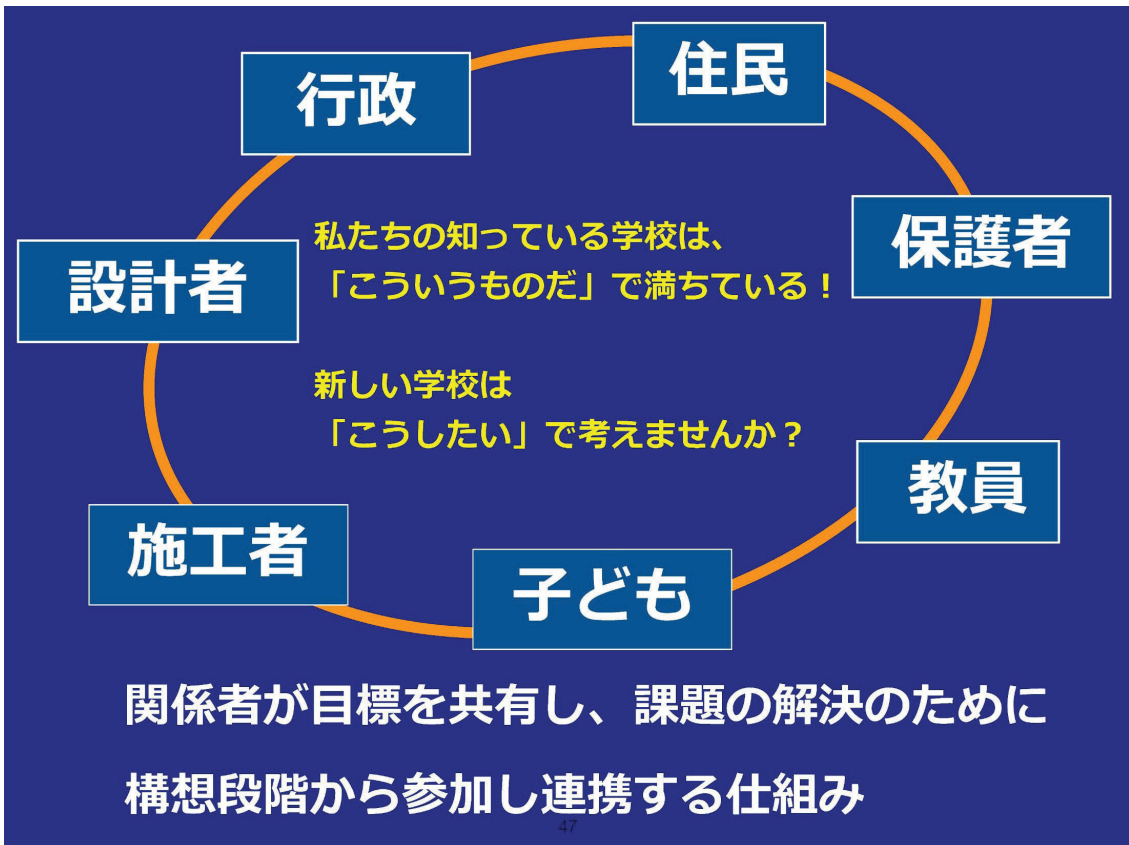


高床式の学校



避難所となる体育館

災害時に対応した学校施設





地域住民が常駐できるスペース

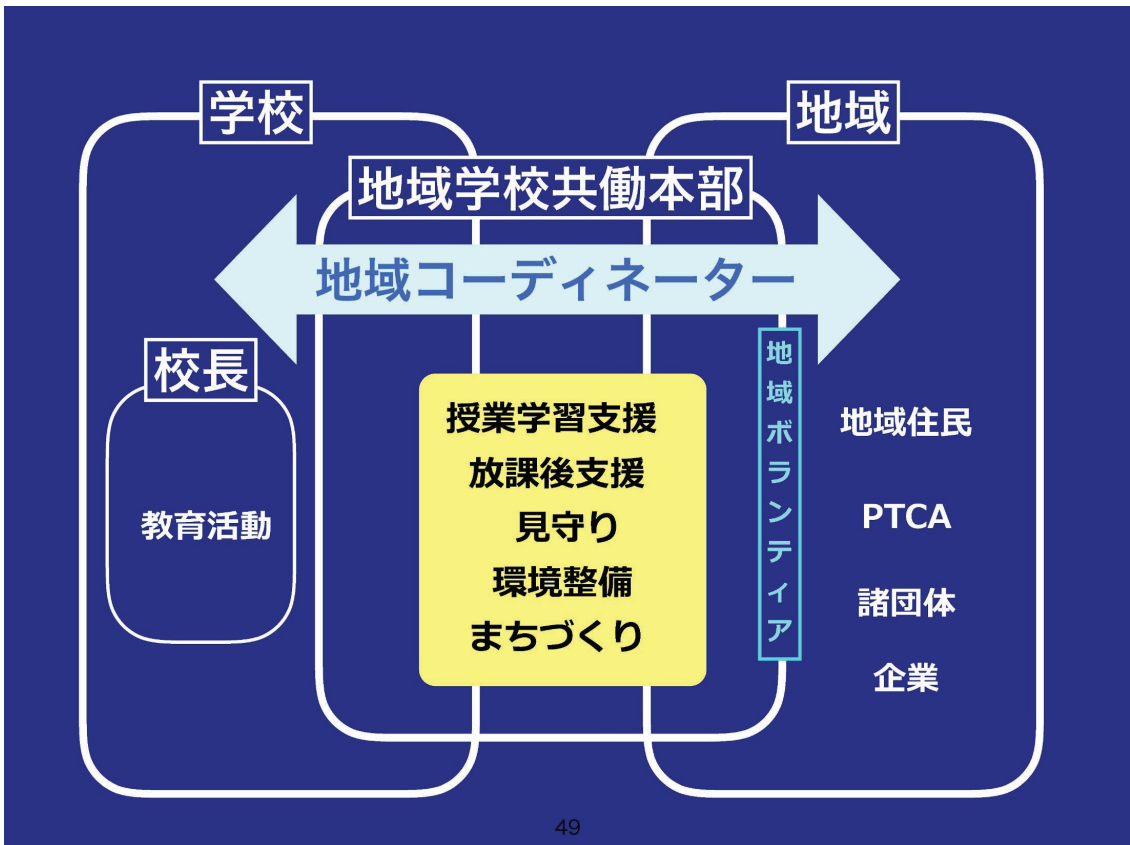


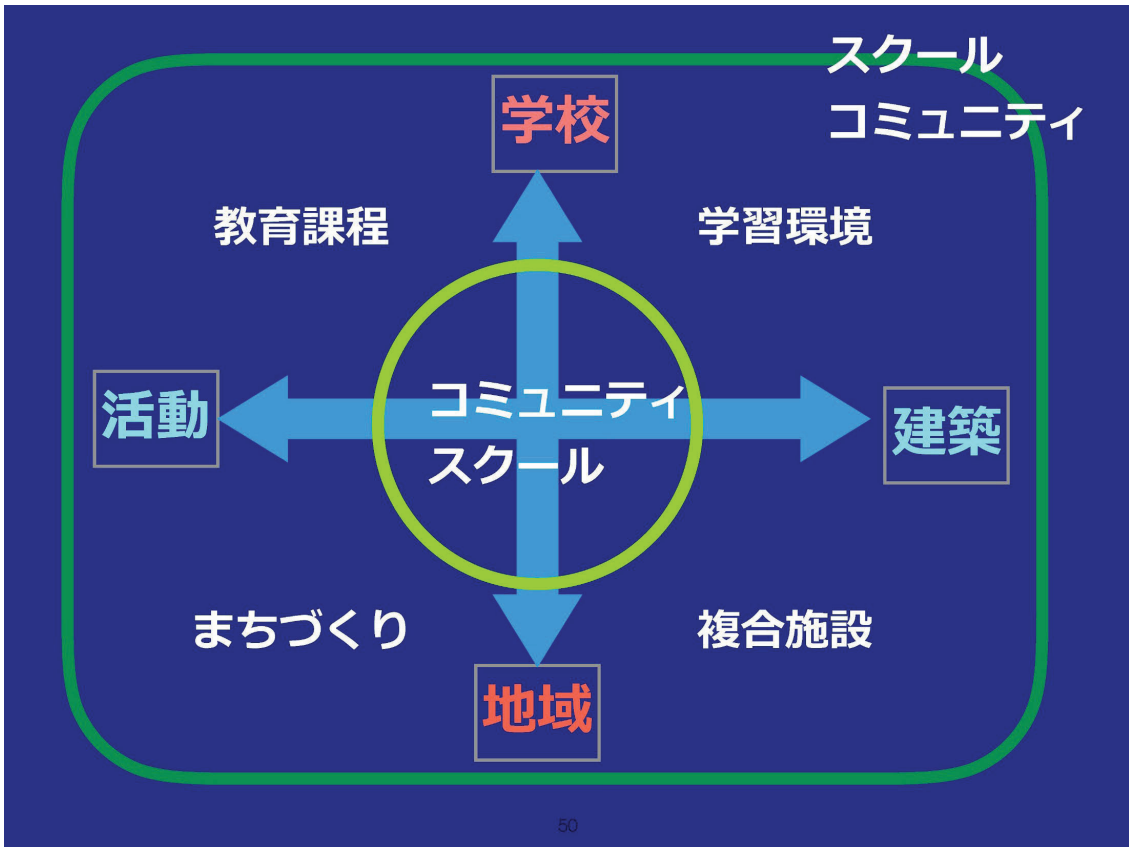
地域が学校を支える



地域と学校をつなぐ人材

地域との連携







大人（チーム美浜）の
本気度と団結力が試されています！

難しい宿題です。
みんなで知恵を絞って
考えましょう！